



平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に行われた、「全国学力・学習状況調査」の結果についてご報告します。6年生の保護者の方には児童を通して、個人票で結果をお知らせしています。ここでは、6年生の結果から見えてくる本校の全体の傾向と今後の方向性などについて、ご報告いたします。



1 教科に関する調査結果

平均正答率(%)

	左近山小			神奈川県			全国		
国語 A	62	県 (▼8)	70	70.7	国語 B	45	県 (▼9)	54	54.7
		全国 (▼8.7)					全国 (▼9.7)		
算数 A	55	県 (▼9)	64	63.5	算数 B	41	県 (▼11)	52	51.5
		全国 (▼8.5)					全国 (▼10.5)		
理科	50	県 (▼9)	60	60.3					

全体としては、全国・神奈川県の前年正答率を下回っています。各教科の基礎的・基本的な学習内容をしっかりと押さえ、それを活用する力をつけることが課題です。

2 全国の前年正答率と比較して

各設問について、○・・・「比較的よかった(前年正答率の高い)設問」 ▼・・・「よくなかった(前年正答率の低い)設問」についてまとめています。

国語A(主として知識)

- 慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する
- ▼文の中における主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書き直す
- ▼相手や場面に応じて適切な敬語を選択する

国語B(主として活用)

- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる
- ▼話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる
- ▼目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く

算数A(主として知識)

- 180°の角の大きさを理解している
- ▼小数の除法の意味を理解している
- ▼分度器を用い、180°より大きい角の大きさを求める
- ▼円周率の意味を理解している

算数B(主として活用)

- ▼棒グラフと帯グラフを読み取り、適切に判断できる
- ▼集まった角の大きさの和が360°になることを記述できる
- ▼示された数量を関連付けて根拠を明確に記述できる

国語…作文への取り組みを充実する。

- ▶日頃から「文章を書く」ということに触れる中で、内容をわかりやすく書くことを意識したり、主語と述語の関係などに目を向けたりするようになることを考える。

算数…既習事項を確認する時間を設定する。

- ▶学習内容を忘れていたことが原因の一つとも考えられる。定期的に過去の学習内容を振り返ることで、基礎学力の定着が図られることを考える。

国語・算数…記述式の問題に向き合う機会を保障する。

- ▶無回答で済ませようという意識の改善がみられるのではないかと考える。
- ▶時間を意識したり、情報を整理したり、まとめたりできるようになるのではないかと考える。